

適切な表現で書く

(語句の働き)

名前

★語句は、一つの語でもたくさんの意味をもつものが多く、表すものによって意味や使われ方が変化します。文章を書くときには、その語句が文脈の中でどのような意味をもち、他の語句とどのようにかかわっているのかをとらえ、適切に使うことが大切です。

やってみよう

一 次の(1)から(3)の——線部の言葉の意味として適切なものを、あとのアからエの中から、それぞれ一つずつ選んで記号で書きなさい。

- (1) ①物を見る目がある。 ②見た目が悪い。
③目で物を見る。 ④疑いの目で見ると見る。

ア 見抜く力 イ 姿・形 ウ 視力 エ 見方

- (2) ①行く手をさえぎる。 ②あらゆる手を尽くす。
③人の手が足りない。 ④あの人と手を切る。

ア 方向 イ 関係 ウ 労働力 エ 方法

- (3) ①日が落ちる。 ②成績が落ちる。
③色が落ちる。 ④月影が水に落ちる。

ア 映る イ 沈む ウ 下がる エ 取れる

二 次の(1)から(5)の文の()の中に入る言葉として適切なものを、あとのアからオの中から、それぞれ一つずつ選んで、記号で書きなさい。

- (1) この布は() 雪のように白い。
(2) 私が言ったことは() うそではない。
(3) あなたの願いは() かなうでしょう。
(4) () 彼が遅刻することはあるまい。
(5) () 忘れていたら注意してください。

ア けっして イ まるで ウ まさか エ きつと オ もし

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

結局、ひどい雨は降らなかったが、昨日のスケッチ会は順延になった。天気予報の降水確率は90パーセントだったからだ。もし、無理をして実施していたら、一番遠くまで出かける予定だった三年生は、おそらく最後までスケッチを完成させることができなかつたからです。

- (1) [A] に、接続詞を補おうと思います。文脈に合うように、適切な接続詞を書きなさい。

- (2) ——線部Bを、この文章全体に合うように適切な表現で書き直しなさい。